

鳥取スタイル・エコツーリズム

今年の鳥取県は“グリーンウェイブ”をテーマに、鳥取ならではの自然環境を活かした取り組みが県全体で行われています。5月には「全国植樹祭」、9月からは「都市緑化フェア」、そして10月には「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」が開催されます。

住まうように旅する

エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取 実行委員会事務局長 石村隆男



日本百名山のひとつである大山（だいせん）、標高1,729m

鳥取県は森林面積が74%を占め、県西部の国立公園大山にはブナの原生林が広がり、森の豊かさや恵みに出合う機会はずば抜けています。大山は、出雲王朝の時代から神々の住む山として信仰の対象であり続け、その結果、西日本随一とも言われるほどの大なブナの原生林が残されてきました。山麓地域の水道水は、ブナ林の豊かな土壌で100年かけて濾過された天然水を利用しています。大山には、大手飲料メーカー12社のミネラルウォーターの工場があり、名実ともに「西日本の水どころ」としての地位を確立しています。

当時のユニークなところは、山麓に広がるブナの原生林から海まで車で30分もかからずに行けることです。美しい砂浜や温泉街、ブナの原生林などが、わずか30分の移動範囲の中にそろっている、そんな地域は日本を見渡しても他にないと言えるでしょう。大山山麓には別荘が立ち並んでいます。森・里・海を存分に楽しめる当地の魅力にすっかり虜になり、移住する方も多いようです。

鳥取県におけるエコツーリズム推進の流れ

組織・制度づくり	担い手の養成	プログラムの企画造成
2007～ ●「大山・中海エコツーリズム協議会」設立 ●「皆生ツアーデスク」、「大山ツアーデスク」開設	●ガイド養成講習会開始	●ツアーデスクを拠点とするプログラムの開発・販売
2009～		●「皆生・大山 SEA TO SUMMIT」初開催（その後継続して開催）
2011～ ●サイクリングロードの整備		●県西部市町村におけるエコツアーの企画造成（開発を県が助成）
2012～ ●「皆生ツアーデスク・コグステーション」開設		●モニターツアー実施
2013～ ●大山観光局、第二種旅行業取得 ●「大山環境宣言」採択	●地域住民向け「エコツーカレッジ」開講	●「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」開催

す。当地を好きになつて頂き、繰り返し来訪いただいたら、当地の物産を継続して買っていただけるファンを増やしていくことです。そのためには、エコツアーの中で紹介する“コト”や“モノ”が、ツアーパートナー自身とつながりがあることを知つていただいたら、感じていたらくことが大切です。ガイドナンスの中にツアーパートナーとのつながりを入れ込むことで、他人事ではなく自分事として感じていただくことになりますから、参加者自身と当地のコトやモノとのつながりに、より関心を寄せていただけるはず。幸いにも当地は“大山の恵み”という一点で、つながりを感じていただけます。

例えば、たら製鉄と毎日使う髭剃りシェーバー。米子市に隣接する安来市の日立金属安来製作所は全世界のカミソリ用鋼材の6割以上のシェアがあり、日本製のシェーバーやカミソリの鋼もこのもの。この鋼は当地のたらの技術が基礎になって現在に活かされています。ということは、先人達が取り組んだ、たら製鉄にお世話になつているということ。たら製鉄と自分達の生活とのつながりを知れば、たらの歴史にも興味が湧いてくるはずです。たらの歴史は出雲神話にもつながりますので、奥は深いのです。例えば、大山の天然水。関西を中心に西日本では大山の天然水がミネラルウォーター販売の大きなシェアを持っています。大山の天然是水はバランスのとれた美味しい軟水で、赤ちゃんのミルクを溶くのに大変いとされ、お母さん達に人気があります。ということは、関西の赤ちゃんの多くは大山の水を日々飲んでいることになります。子どもの大事な成長を支えることによって、命の水が供給され、維持されることによって、命の水が供給され、

たツアーパートナーをモニターツアー

「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」開催

住まうように旅する。

森・里・海、水の連環と人々の営み

日程 2013年10月19日(土)、20日(日)、21日(月)

主会場 米子コンベンションセンター

内容 19日(土)：基調講演、トークセッション、交流会

20日(日)：エクスカーション、大山交流会、ナイトツアー

21日(月)：エクスカーション報告会、大会総括

主催 「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」実行委員会

共催 NPO法人日本エコツーリズム協会

大会参加者募集中！

※詳細は「エコツーリズム鳥取」で検索！

※お問い合わせ：実行委員会事務局 TEL：0859-31-9373

飲水だけでなく、みずみずしい農作物や畜産物、境港などで水揚げされる美保湾の魚介類が生まれます。それらは全て水でつながる“大山の恵み”です。大山の水と自身とのつながりを知れば、当地のブナの森などの自然や歴史にも興味が湧いてくるでしょう。たら同様に神話世界にもつながりますので、こちらも奥が深いのです。

このように現代の私たちの暮らしとある自然との間には、歴史をひも解くことで見えてくる関係があります。その関係性についてエコツアーを通して伝えることで、また来たいと思ってもらえるようファンづくりに努めています。

今秋開催の「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」は、これまでの取り組みの成果を発信すると共に、サイクリングなどのスポーツツアーや大山での歴史散策など、既存の観光と、新しいエコツアープロジェクト「水」というキーワードでつなぎ、エコツーリズムで横串を通すことを狙いとしています。

そのため県内の市町村から、各地で実践、開発されているエコツアープロジェクトを募集し、助成が必要なところには支援を行い、ツアーモデリング上げに努めてきました。そうやって挙がつてしま

として実施、検証し、プラッシュアップした中で良いツアーパートナーを大会のエクスカーションとして体験いただきます。さらに大会で地域外の方の目を通して商品化を図っていきたいと考えています。

外への発信を行う一方で、「大山ワンダー・エコツーカレッジ」と題し毎月講座を開催し、地域再発見の取り組みを行っています。“つながり”の中で生きていることを実感し、大切に思う気持ちを育てることで、持続可能な地域を作ることを目指します。

大会へ向けて取り組みながら、さらに大会後に続くように鳥取スタイルのエコツーリズムを提唱していきます。

大会へ向けて取り組みながら、さらに大会後も続くように鳥取スタイルのエコツーリズムを提唱していきます。

鳥取スタイルのエコツーリズムについて県内各地で紹介する機会が増えました。鳥取県のエコツーリズムの基本的な考え方や、取り組みに加え、“鳥取スタイル”的エコツーリズムについても併せて紹介することに努めています。

エコツーリズムの基本的な取り組みは、自然、歴史、文化などの魅力を体感いただけるようなツアープログラムの開発やガイドの育成を行い、自然環境の保全と地域の活性化を図るというのですが、鳥取スタイルの取り組みは、それに加えて次の視点を入れています。それは、「地域のファンづくり」の視点で



エコツーリズムについて県内各地で紹介する機会が増えました。鳥取県のエコツーリズムの基本的な考え方や、取り組みに加え、“鳥取スタイル”的エコツーリズムについても併せて紹介することに努めています。

鳥取スタイルのエコツーリズムについて県内各地で紹介する機会が増えました。鳥取県のエコツーリズムの基本的な考え方や、取り組みに加え、“鳥取スタイル”的エコツーリズムについても併せて紹介することに努めています。

4



Eコース 100万本のサルビアで話題とつとり 花回廊&どぶろくと蕎麦のふるさとコース

花回廊のガイドを担当しています。大山の広大な丘に広がる日本を代表するフラワーパークで、1キロの回廊の内外に年間を通じて様々な花が咲き誇ります。この時期は、なんと100万本のサルビア。丘全体が赤く染まり、紅葉の大山と見事なコントラストに。午後には中国山地の山間地のどぶろくの里を訪ね、手打ち蕎麦とどぶろくを楽しめます。“わが美しきふるさと”がここにあります。



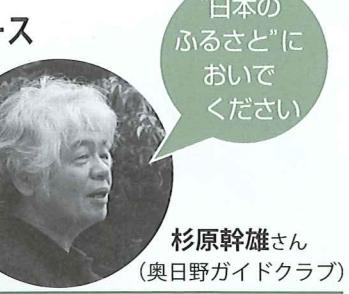
“わが美しき
ふるさと”
です

河崎 積さん
(とつとり花回廊園長)



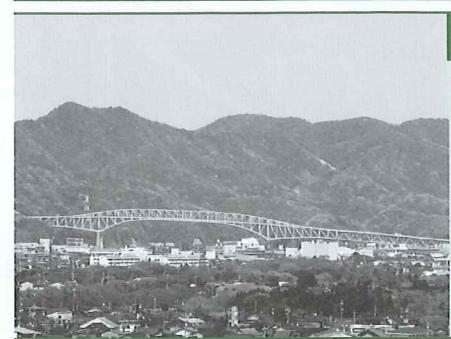
Fコース 日本一の質と生産を誇った たら製鉄のふるさとを訪ねるコース

奥日野の魅力を伝えるべく、仲間とガイド俱楽部を設立し、観光を通じて地域の活性化の取り組みを始めました。当地の歴史、文化はたら製鉄を抜きに語ることができません。江戸時代後半期から明治にかけ、全国の鉄生産の9割以上を占めていました。その製鉄技術は伝承され、今も活かされています。奥日野は“日本のふるさと”を思われる懐かしい里風景が広がるところで、秘境といった趣も。



“日本の
ふるさと”に
おいで
ください

杉原幹雄さん
(奥日野ガイドクラブ)



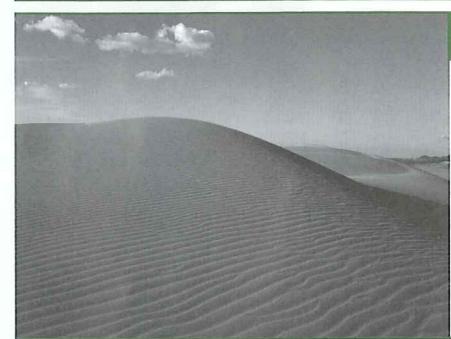
Gコース 水木しげるさんの原風景・境港と 日本最大の太陽光発電所、水鳥公園コース

水木しげる記念館の館長を務めています。境港は漫画家・水木しげるさんの故郷で、日本を代表する漁港であり、妖怪文化の花開くところ。水木しげるさんは多感な少年時代を境港で過ごしましたが、その時の経験が妖怪漫画の世界へつながりました。今も当時の風景があちこちに。原風景を訪ねた後、日本最大のソーラーパーク、ラムサール条約登録地のランドマーク的存在の米子水鳥公園を訪れます。



妖怪文化を
感じて

庄司行男さん
(水木しげる記念館
館長)



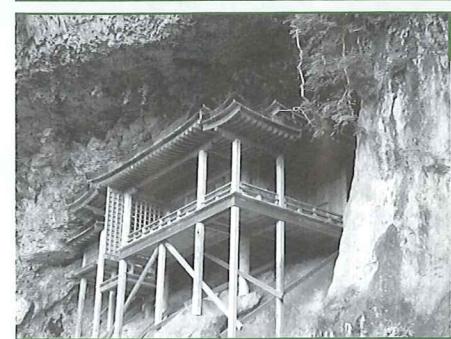
Hコース 砂丘の雄大な風景にときめく 世界ジオパークとナチュラルガーデンコース

鳥取環境大学地域イノベーション研究センターの講師で、ジオパークの調査研究、地域振興に携わっています。世界ジオパークの鳥取砂丘では雄大な風景と自然を体感いただき、開催中の都市緑化フェア「水と緑のオアシスとつり」では、鳥取県に自生する植物など、風土に合う植物を多彩に使用し自然風に植え込む「ナチュラルガーデン」(ボーラスミー氏監修)を鑑賞します。



雄大な
鳥取砂丘へ

新名阿津子さん
(鳥取環境大学講師)



Iコース 大三徳山国立公園編入応援企画 国宝・三徳山三佛寺投入堂への修験の道 登山と遙かなまち倉吉を訪ねるコース

遙かなまち倉吉のガイドを担当しています。日本一危険な国宝とも表現される三徳山三佛寺投入堂への険しい修験の道（高低差200m）を登り、心が洗われる風景に合掌。午後には、山陰特有の赤瓦に漆喰の白壁土蔵群が並ぶ伝統的建造物群保存地区を訪れます。落ち着いた風情のある街並みを歩くと、時間がゆっくり流れしていくのが感じられます。



心が
洗われます。

高塚勝さん
(倉吉観光・MICE協会)



住まうように旅する ECOTOUR ! 鳥取へ行こう !

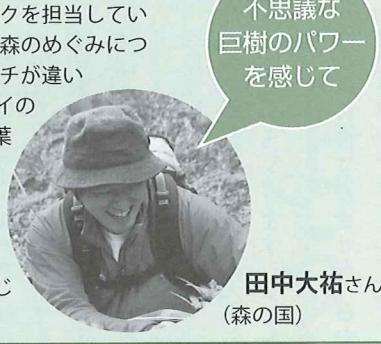
「エコツーリズム国際大会 2013in 鳥取」2日目（10月20日）には、大山山麓を中心とするエコツアーにご参加いただきます。大会テーマである「森・里・海、水の連環と人々の営み」を感じていただける多様なプログラムをご用意して、皆様のご参加をお待ちしております。ガイドさんは、地元に心から惚れ込んでいる魅力的な方ばかり。ツアーの見所や想いをご紹介します。

※各コースとも参加費 5,000円（昼食つき）。昼食は特色ある地元料理をご用意！

Aコース 大山の森のめぐみを体感 ブナの森ウォーク&大山寺の歴史コース



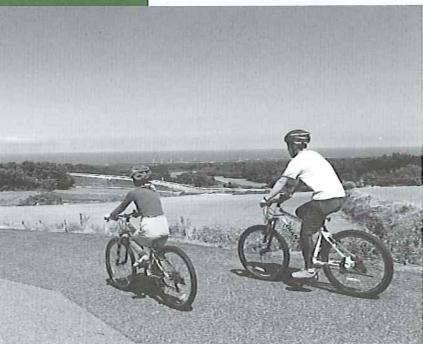
自然体験施設・森の国のスタッフで、大山ブナの森ウォークを担当しています。大会当日はまず、大山のカタチを知っていただき、森のめぐみについて体感いただきたいと思います。大山は見る方向でカタチが違いますが、刻々と変化する山容を見ながら、大山パークウェイの絶景ドライブを楽しみます。クライマックスはブナの紅葉トンネル。身も心も紅に染まります。午後には、大山信仰の中心・大山寺と大山（おおがみやま）神社奥宮を訪ね、宝珠の森のブナの巨木（幹周り5m）を目指します。天狗ブナとも表現される樹齢500年の巨樹に出会うと、だれもが自然に手を合わせたくなります。不思議なパワーを感じるからでしょうか。大山の恵みの源はここにある！？



不思議な
巨樹のパワー
を感じて

田中大祐さん
(森の国)

Bコース ブナの森から紺碧の海へ 大山ダウンヒルサイクリングコース



生まれも育ちも大山。現在の遊びのフィールドも、仕事の場（森の国）も大山という生粋の「大山人（だいせんびと）」です。大山ではいろいろな自然体験、遊びを楽しむことができますが、今一番人気がスキー場から日本海まで自転車散歩で下る「大山ダウンヒルサイクリング」です。途中、渓流を散策し、小さなヨーグルト工場や開拓村の旧分校、羊牧場などに立ち寄り、地元の方々に触れ合いながら白砂の海岸を目指します。下るだけのコースですので、自転車に乗ることができます。だれでも参加可能。爽快な体験とほっこり温まる出会いが楽しめますよ。午前中はAコースと同様に、風景街道でもある大山パークウェイ絶景ドライブを楽しめます。



生粋の
「大山人
(だいせんびと)」

秋田圭一さん
(森の国)

Cコース 奥大山・ブナの森エコプログラム 体験&奥大山古道探訪コース



大山・蒜山（ひるぜん）エリアの景観保全、サンショウウオなどの生態系の保全活動など、長年にわたって広く活動をしています。ツアーのフィールド・奥大山地区はブナの原生の森に代表される自然や景観が特に素晴らしいところです。それもあって民間企業や環境省、住民、NPO、大学などの環境保全活動が活発に行われています。ツアーでは実際に展開されている環境保全活動を行ったり、森や渓流、湿原、草原などを探検しながら活動体験してもらうプログラムを用意しています。また、大山信仰の歴史の道・旧大山道もあり、その古道の一部を歩くことも予定しています。ブナの森と人々の営み、そして大山信仰が息づく里山は訪問者を優しく迎えてくれます。



サンショウウ
オが生きる森
をご案内

徳永巧さん
(Grand Work
Great Mountain Garlic Hill)

Dコース 大山登山コース（山頂を目指します）



大山の魅力にとりつかれ、長年にわたり登山ガイドをしています。名峰大山は、登りが2時間半から3時間程度、全行程で約6時間。前半の5合目までは錦に染まる紅葉のブナの森を歩き、森林限界を越える7合目からは日本海を一望しながら大パノラマが広がる中を登ります。この季節、眼下には実りの季節を迎えた色づく大地と豊穣の海、さらに好天であれば隠岐の島を望むことも出来ます。



日本海を
一望する
大パノラマ

久保昌之さん
(大山ガイドクラブ)